



ISBN1-23-456789-X

Bricolage

2020年 春号(4・5月)

ブリコラージュ

15日発行)第32巻6号(通巻第265号)

1994年12月15日第三種郵便物認可

【発行所】(有)七七舎

〒区西池袋5丁目26-15久保田ビル2F

5986-1777 FAX03-5986-1776

【編集人】三好春樹

C1234 ¥2600

広告掲載範囲



定価(本体610円+税)

安全な介護にゆーす

お問い合わせはHPから

株式会社 **安全な介護**

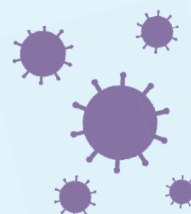
<http://anzen-kaigo.com/>

豊島区西池袋 5-26-15 久保田ビル 2F

TEL 03-5995-2275 / FAX 03-5986-1776

Q

もしも高齢者施設で
新型コロナウイルスの感染者が出たら？



A

大切なのは職員から
利用者への感染を防ぐこと

中国人観光客や中国からの帰国邦人が感染源であった新型コロナウイルスは、感染源が不明のまま感染拡大する「市中感染」の段階に入りました。健康な人は感染しても即生命にかかわる感染症ではありませんが、基礎疾患を持つ人と高齢者には脅威となります。

介護職員は利用者と身体を密着させて介護しますから(極めて濃厚な接触)、1人でも発症者が出れば施設内で多数の感染は避けられません。職員の感染が判明した時には既に多数の入所者に感染させているという事態は容易に考えられるのです。

市中感染の段階に入りましたから、いずれ高齢者施設の職員にも新型コロナウイルスの感染者が出ることは避けられないでしょう。高齢者施設ですべき対策は**家族の面会を禁じる**ことではなく、職員が自らの感染を防ぐことです。職員に次のような感染防止対策を徹底させることが、施設が現在できる重要課題です。

職員自らの感染防止対策

- 1 感染機会を減らすために次のような場所への出入りを極力避ける**
 - ・観光地の室内施設 ・ホテルの飲食施設 ・外国人旅行者の多い量販店など ・屋内遊技場
 - ・居酒屋やカラオケ ・乗降客が多い駅の喫煙室や待合室 ・病院や医院の待合室
 - ・新幹線、特急、長距離バス
- 2 体内侵入を防ぐために衛生行動を徹底する(感染に早く気づく)**
 - ・手洗い(洗顔)、うがい ・マスクの着用 ・水分摂取やマスクによって上気道を湿潤な状態に保つ
 - ・感染の早期の自覚*と診断依頼

※発熱と同時に「咳とは異なる息苦しきさ」を感じたら受診して検査を申し出る

リスクマネジメント基礎講座

無料

- ◆とき: 2020年5月22日(金) 13:30~16:30
- ◆ところ: あいおいニッセイ同和損保新宿ビル4階会議室(新宿駅から徒歩15分)
- ◆講師: 山田 滋(安全な介護代表)
- ◆内容: 介護のリスクマネジメント基礎知識/事故防止活動の基本/ヒヤリハット活動を見直す、他
- ◆受講料: 無料(テキスト代1,500円) ◆問合・申込先: ブリコラージュへ

